

令和6年度

聖徳大学大学院 言語文化研究科 日本文化専攻

博士後期課程

春学期入学 C日程

(令和6年2月11日実施)

< 専門科目 >

受験にあたっての注意

- (1) 「問題用紙」と「解答用紙」(2枚)は、別になっています。
- (2) 試験開始の合図があるまで、この「問題用紙」を開いてはいけません。
- (3) 「問題用紙」の表紙と、「解答用紙」各ページの指定欄に「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- (4) 配付された「問題用紙」、「解答用紙」は、すべて提出してください。
- (5) 試験終了後は、答案の回収、確認が全て終わるまで、着席しててください。
- (6) 携帯電話などの通信機器の電源は切っておいてください。
- (7) 不正行為のあった場合は、ただちに受験を停止させ、受験を無効にするとともに、その後の受験は認めません。

解答にあたっての注意

- (1) 問題は、「問題用紙」の3問中2問選択です。
- (2) 各解答用紙の問題番号欄に、自分の選択した問題番号を正確に記入して、解答してください。

研究科名	言語文化研究科 日本文化専攻 博士後期課程	受験番号		氏名	
------	--------------------------	------	--	----	--

**【問題は次のページから】**

## <専門科目>

※ 以下の3問の中から、2問を選んで解答すること。

### 第1問

日本文化の特質について、他国・他地域の文化と具体的に比較しながら、説明しなさい。

### 第2問

歴史上、近代社会成立にあたって啓蒙思想が果たした役割は画期的であった。それは日本においても同様である。啓蒙思想の画期性は如何なる点に求められるか。明六社に集った啓蒙思想家を一人具体的に取り上げて、その人物に即して、彼の啓蒙思想の特色を概括し、その独創性と歴史的限界について論述しなさい。

### 第3問

日本近代文学の特質について、具体的に作家1人を取り上げながら、論述しなさい。